

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	2	選択
担当教員			
前田 拓生			
C (商学部)	L (基礎科目)	SS (社会)	104 (基礎・入門科目)

授業のねらい（概要）	本授業は高崎市、富岡市、しのめ信用金庫、高崎信用金庫、中小機構、タッチコア、竹中組、群成社、キャリアの協力による「寄付講座」として開講される。本科目では、DPに掲げた「大学での学びを地域に還元し、価値を創造する姿勢」と「組織で協働できる能力」を養うことを目的とする。そのために、社会の一員としての自覚を持ち、高崎・富岡地域（本地域）の社会・経済の発展のために積極的に関与できるマインドを身に付ける。 具体的には、高崎商科大学と包括連携協定を結んでいる自治体及び企業等の方が講師となり、本地域の魅力や成長の可能性とともに、本地域特有の課題や問題点もについて講義し、課題解決についても議論することで、地域活動と社会貢献についての考え方と取り組みを学修する。 このような授業を通じて、本地域の魅力や発展可能性を理解するとともに、本地域特有の課題や問題の解決に向けての思考能力を身に着ける。また、本地域の活性化に資するビジネスモデルも作成する。 なお、本講義では前半45分の座学で提示された本地域等の課題・問題を基にして、後半のグループワークにより、課題解決について学生同士での議論を行う。
授業計画	第1回 【遠隔】オリエンテーション（前田） 本講義の目的の他、イントロダクションとして本地域の概要及び「地域の活動」についても解説し、授業の進め方・注意事項等についても説明する。 予習（30分）：本シラバスを熟読する 復習（30分）：本地域についてネット等で調べる 第2回 【遠隔】文化と歴史を活かした創造的な高崎（高崎市役所） 高崎市特有の取り組みについて学ぶ 予習（120分）：高崎市のHP等で本市の文化と歴史を活かしたまちづくりについて調べる 復習（120分）：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる 第3回 【遠隔】高崎信用金庫の地域活動（高崎信用金庫） 高崎信用金庫独自の地域活動について学ぶ 予習（120分）：高崎信金のHP等で本信金の地域への取り組みについて調べる 復習（120分）：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる 第4回 【遠隔】本学の富岡市街地活性化プロジェクト（本学地域連携センター） 本学の富岡市街地活性化活動について学ぶ 予習（120分）：富岡市街地についてHP等で事前学習を行う 復習（120分）：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる 第5回 富岡市における新しい価値の創出（富岡市役所） 富岡市の地域社会づくりについて学ぶ 予習（120分）：高崎市のHP等で本市の地域社会づくりについて調べる 復習（120分）：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる 第6回 しのめ信用金庫の地域活動（しのめ信用金庫） しのめ信用金庫独自の地域活動について学ぶ 予習（120分）：しのめ信金のHP等で本信金の地域への取り組みについて調べる 復習（120分）：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる 第7回 【課題】富岡市について 富岡市についての文献等の調査研究を行う。 予習（120分）：ネット等を利用して富岡市及び富岡製糸場について調べる 復習（120分）：本日のFWで学んだことをノート等にまとめる 第8回 地域活性のためのビジネスアイデア（前田） 7回目に実施した富岡市調査を基に当地の課題について議論し、課題を発見するとともに、当該課題の解決に向けてのビジネスアイデアを創造する。 予習（120分）：ビジネスモデルについて調べる。 復習（120分）：活動後にレポートを作成する。 第9回 中小企業経営と地域活性化（中小機構） 中小企業経営と地域活性化について学ぶ 予習（120分）：中小機構の取り組みについて調べる。 復習（120分）：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる 第10回 地方創生に資する地域活動（タッチコア） 全国で行われている地方創生についての取り組みについて学ぶ 予習（120分）：ネット等を利用して全国で行われている地方創生についての取り組みについて調べる 復習（120分）：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる 第11回 【課題】高崎市について 高崎市についての文献等の調査研究を行う。 予習（120分）：高崎市について調べる。 復習（120分）：本日の議論をノート等にまとめる 第12回 地域に根差した企業活動（1）（群成社） 群成社における地域活動について学ぶ 予習（120分）：群成社の地域への取り組みについて調べる 復習（120分）：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる 第13回 地域に根差した企業活動（2）（竹中組） 竹中組における地域活動について学ぶ

	第14回 予習（120分）：竹中組の地域への取組みについて調べる 復習（120分）：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる 若き起業家（キャリコ） 自ら起業した若き経営者に学ぶ 予習（120分）キャリコについてHP等で調べる。 復習（120分）：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる 第15回 【課題】成果発表（前田） 高崎又は富岡の活性化に資するビジネスモデルを発表、質疑応答する 予習（120分）：グループで高崎又は富岡の活性化に資するビジネスモデルを作成 復習（120分）：これまで学んだことをノート等にまとめる
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP(商学部)の2項目を意識した科目となっている。 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 大学での学びを地域に還元し、価値を創造する姿勢 【身に付くスキル】 課題解決力・協働力
到達目標	①本地域の魅力を理解し、課題等の解決に向けて必要となる基本的な技能を持つ ②グループにおいて自分の意見を述べ、適切に議論ができ、協調して発表等ができる
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題等については、注意点等を赤字で記入の上、返却する
履修上の注意	次の事項について十分に注意をすること。①病気等やむを得ない欠席の場合には事前に担当教員に連絡をする。②欠席（公欠を含む）5回で履修放棄と見なす。③グループ討議では積極的に意見を述べ合い、時間内に発表できるよう全員で協力する。
成績評価の方法・基準	プレゼン50%、レポート課題30%、学修意欲20% 但し、学修意欲においては、グループリーダー、発表者の役に積極的に就いたもの等により高い点を与える。
教科書	特になし
参考書・教材	
備考	講義科目／実務家教員による授業 第7回 当初シラバスの「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信、および作業指示をmellyなどで行い、調査結果の小レポート作成や提出は当初シラバス通りに実施する。これらの指示確認等を5、6回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。 第11回 第7回同様の実施として、指示確認を9、10回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。 第15回 第7回同様の実施として、指示確認を12、13回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。 成績評価の方法・基準 欄の「定期試験」は、本学の感染状況への対応を踏まえて「最終レポート」で代替することがある。その場合には速やかにmelly及び授業で実施方法の詳細と評価基準を受講生に告知する。
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内で周知）